

CLT OF THE YEAR

今、最も輝く“完成形”を決める。

CLTの未来をともに描く、
日本CLT協会の公式表彰

野田東徳（雁光舎）

©スターリンエルメンドルフ

photo by Ryota Atarashi
MOJINT FUJI ARCHITECTS STUDIO

CLT
OF
THE YEAR
2025

撮影：株式会社エスエス 走出直道

©Toshihiro Sobajima

「CLT OF THE YEAR 2025」は、CLTを用いた完成した建築物や製品の優れた活用事例を表彰するコンテストです。対象は、**2023年1月1日から2024年12月31日**の間に、**日本国内で完成したCLTを用いた建築物や製品**です。革新性・持続可能性・意匠性など、**10の評価項目**に基づき審査します。建築分野・製品分野を問わず、CLTの新しい可能性を示す事例を広く募集します。

募集期間

2025 **10.1** WED - **12.3** WED 18時必着

詳細・応募はWEBから▼

<https://clt-oftheyear.com>



主催・運営：一般社団法人日本CLT協会
【お問合せ】 E-mail: compe@clta.jp

CLT OF THE YEAR

コンテスト概要

募集対象

以下の条件をすべて満たす **建築物または製品** を対象とします

- ✓ **2023年1月1日から2024年12月31日まで**の間に、日本国内で竣工または完成したものの
- ✓ **CLTを使用**し、CLTの新しい可能性を示すもの（建築の構造形式や製品の種類は自由）

※ 上記の期間内に該当するものであれば、過去に応募した作品の再応募も可能

応募資格

- CLTを用いた建築物および製品の設計者、施工者や施主など関係者
- 個人での応募のほか、企業・団体・グループ単位での応募も可
- 審査委員からの推薦

賞

CLT OF THE YEAR 1点 / 特別賞（該当時）

🏆 「CLT OF THE YEAR」受賞者には、副賞として、美術家・野老朝雄氏がデザインした国産CLTの積層美を活かした 特製トロフィーを贈呈します

審査委員

鈴木 大隆	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事
青木 謙治	東京大学 大学院農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 木質材料学研究室 教授
内海 彩	株式会社内海彩・長谷川龍友建築設計事務所 代表取締役 / NPO法人team Timberize 理事
小見山 陽介	京都大学大学院工学研究科建築学専攻 講師
末光 弘和	九州大学大学院人間環境学研究院 准教授 / 株式会社SUEP 主宰

応募方法・応募資料

1. 応募フォームに必要事項を入力
2. 応募プレゼンシート（PDF形式）をアップロード

※ 応募はWebフォームからのみ受け付けます（紙での応募はできません）

※ 応募にはGoogle アカウントにログインが必要です お持ちでない方はGoogle アカウントの作成をお願いします

【応募プレゼンシートについて】

- **形式**：A3横向き・2枚以内、PDF形式（5MB以下）
- **内容**：図面・写真・アピール文など、自由な形式でOK
- **文字サイズ**：概要説明などに使う文字は、読みやすい大きさにしてください（8ポイント以上）
- **アピールポイント**：審査ポイント10項目の中から3つ以上を選び、その理由を具体的に資料内に記載してください

審査ポイント★

01 革新性と クリエイティビティ	02 持続可能性	03 機能性・効率性・ 施工性	04 品質・耐久性	05 安全性
06 社会提案性	07 意匠性・造形性	08 普及・啓発性	09 経済性	10 利用者への適正

日程



応募期間

2025年 10月1日～
12月3日



審査

2026年 1月～3月



表彰・発表

2026年 6月上旬

※ 3月末 受賞者通知予定

- 応募に関する詳細条件や資料の取り扱いについては、特設サイトの応募要項をご確認ください

応募要項やお申し込みはWEBサイトから

<https://clt-oftheyear.com>

